令和４年度　千厩高等学校教職員

働き方改革アクションプラン～大人の手本を見せましょう～

**千厩高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　現　　状 |  | ２　目指す姿 |
| １　教職員は使命感を持って職務に熱心に取り組んでおり、自身の健康や家族との対話より教育活動が優先されている。  ２　新しい考えを取り入れ、業務の改善を図ろうという機運にはなっていない。  ３　ＩＣＴや新学習指導要領など新しい状況に対して対応し切れていない。 |  | １　自分自身の心身の健康を気遣い、家族との時間を確保し、生きがいとやりがいを感じながら教育活動が行われている。  ２　教材研究や教員同士のコミュニケーションを図る時間が確保されている。  ３　新しい制度や情報が共有され、教職員間で活発な意見交換がなされている。 |

|  |
| --- |
| ３　取組内容 |
| **○教職員の健康管理**  　・「健康」を意識した生活を心がけるよう呼びかける。  　・各自の勤務時間の把握を確実に行う。  　・正副担当で業務の連携を図り、共有フォルダで作業をすることで、年次の取りやすい環境を作る。 |
| **○学校における業務改善の推進**  　・他校・他県の取り組みを紹介し、業務の見直しを提案する。  　・教育センター等の研修への参加を呼びかけ、帰校後の資料回覧等でより多くの教職員に情報を拡散させる。  　・管理職による面談やアンケートを実施し学校業務の見直しを図る。 |

|  |
| --- |
| ４　目　　標 |
| **○教職員の健康管理**  　・健康管理区分でＤ３・Ｄ２の割合が少なくとも県割合（Ｒ３：39.0％）以上  　・校内アンケートで、業務に対する充実感について10点満点の6点以上が85％以上  　・年次取得年間40時間以上が97％以上  　・最低週１回は定時退庁、校舎施錠前に退勤している割合が90％以上  **○学校における業務改善の推進**  　・業務のデータを共有ファイルに保存している割合95％以上  　・管理職によるアンケートの実施年２回以上  　・新しい業務の仕方についての紹介10回以上  **●結果としての時間外在校等時間の縮減**  　・月100時間以上の者　ゼロ  　・月45時間超（週休日の部活動従事時間を除く）、年間360時間超の者　Ｒ2の80％減 |

**令和４年５月18日　岩手県立千厩高等学校長　松場　喜美夫**

**［参考］「岩手県教職員働き方改革アクションプラン（2021～2023）」（抜粋）**

【策定趣旨】　　　　働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちへの、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】　　令和３年度～令和５年度までの３ヵ年度

【プランの目標】

　目標１　県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

　　（１）時間外在校等時間が月100時間以上のものを**令和３年度からゼロ**にする。

　　（２）時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く。）が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり**段階的に縮減**する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間外在校等時間 | 令和3年度 | 令和４年度 | 令和5年度 |
| 月45時間超 | 令和２年度実績の  ５割減 | 令和２年度実績の  ８割減 | ゼロ |
| 年360時間超 |

　目標２　業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和５年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和３年度の実施結果から向上することを目指す。